

Shiroyama Style



第37回体育祭

秋晴れの9月28日、Revolution ～みんなの心に革命を～をスローガンに体育祭が行われました。

縦割り団対抗の生徒会考案種目 Let's enjoy ～五つの壁を乗り越えろ～、夏休みから準備を進めてきたオリジナルパフォーマンス、学級の力を結集した学年対抗の全員リレーにおおいに盛り上がりました。



残暑の残るなか九日間の取り組みでは、3年生のリーダーが1、2年生に粘り強く、丁寧に指導を繰り返しました。衝突や反発もある

でしょうが、3年生の姿に1、2年生が何かを感じ、異年齢の集団が目標に向かって取り組む。それが連綿と受け継がれて、やがては学校の伝統となっていくのだと感じられるものでした。



団長Interview

—黄団団長 鶴山颯大さん—

▼取組中、困ったことは

困ったことは、全員が話をしっかり聞いてくれなかったことです。僕の団は2年生しかいなかったのですが、まだ聞かせるのは簡単な方だったのですが、それでも一人一人集中して話を聞かせるのは難しかったです。あとは、団長としてみんなを盛り上げるにはどうすればいいか困りました。これはリーダーたちと協力して盛り上げるべきだと思いました。



▼団長を経験して良かったことは

団長を経験して良かったことはたくさんあります。例えば、後輩や3年生の他のリーダーたちと仲良くなることができたことです。けれど、それよりも団全体をまとめたりすることがいい経験になったと思います。こういう人前に出るのはあまり得意ではなかったのですが、この体育祭を通して少し得意になれたような気がします。



あとは、選手宣誓が学校の代表としてネタも交えて発表できて、本当に楽しかったです。オリパもとても楽しかったです。

—青団団長 岡村奏等さん—

▼取組中、困ったことは

青団はオリパ中に絵を完成させることがメインでした。ダンスと絵を考えるグループに分かれて作業をして、それらを全員が限られた時間の中で共有することがたいへんで困りました。また、全学年での練習の時、青団は3学年がいる団だったので、自分が話すことやみんなに教えるダンスがしっかり伝わっているのか分からなくて困りました。

▼団長を経験して良かったことは

中学校生活最後の体育祭で団長をして、みんなの前に立って青団を盛り上げ、楽しいと思ってもらえて良かったです。僕たちはシンプルですが、「楽しくやっぺいこう」と言い続けていました。だから、最後の体育祭で順位がついても、結果ばかりを気にせず、一回一回の練習でしんどいときもあったけれど、それを超えるくらいの楽しさを団長という立場でみんなと共有できて嬉しかったです。



—緑団団長 金田琉杏さん—

▼取組中、困ったことは

先生方のアドバイスやリーダー会で出た改善点をもとに、新たな動作やかかけ声などを考えて団のみんなに伝えることです。オリパ練習中盤、疲れもあり全体的に声が出ず苦悩しました。そのため、団のみんなので一つの円陣を組み、心を一つにして気合を入れ直し練習に取り組みました。すると、とても大きな声+笑顔で楽しんでオリパをする人が増えました。

▼団長を経験して良かったことは

クラスや他学年の人たちとたくさん話し、絆が深まったことと、最高の思い出になったことです。団全体をまとめたり、練習中マイナスの気持ちになっているときに盛り上げてプラスの気持ちへ変えたりと大変なこともあったけど、副団長やリーダーさんと互いを支え合い「最高な団」「最高な体育祭」にできました。そして、目標としていたグランプリ&総合優勝ができとてもよい経験ができました。



—赤団団長 伴 遙真さん—

▼取組中、困ったことは

オリジナルパフォーマンスを一から考えて、教えるのが大変で困りました。私たちの団は三学年でとても人数が多かったので、この人数をどうやって活かすかを考えることや、そのたくさんの人

たち全員に理解してもらえるように教えるのが難しかったです。体育祭の週になっても、まだ変更を加えたりしてバタバタしてしまったりして、完成までもっていくのも困りました。

▼団長を経験して良かったことは

同じ団の違う学年の仲間との交流が増えたり、人前で話をしてみたりする力がついてよかったです。違う学年の人とは、部活以外では関わる機会があまりなかったので、とても絆が深まりました。そして、大勢の人前で話すことに自信ができました。また、3年生のクラスの仲間ともたくさん話し合いをして、絆が深まったのでよかったです。体育祭で最高のパフォーマンスを赤団の仲間とできたことへの達成感や喜びを分かち合えたことが一番よかったです。



行事の2学期はこれから。

次は、秋季総体(10月20日)に
文化祭(11月2日)。

楽しみにしています。